

## 学生一人ひとりを育てる学習評価システム

### 概要

東京慈恵会医科大学（以下、本学）は、今年、創立 130 年を迎えます。本学は学祖高木兼寛の建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」のもと、国民のための医療者を養成する大学と位置付け、医師（医学科）と看護師を育成しています。この取組は、学部教育(学士課程教育)で行なわれている総合試験（ペーパー試験）による数量的評価結果と演習・実習評価による学生個人への質的評価（記載評価）結果をサーバーで一元管理し、学生一人ひとりの学習ポートフォリオを構築し、学生の成長を時間的な推移として捉え、この結果を学生個人にフィードバックすることで学生の時間軸での成長（学力としての成長と人間としての成長とが合わさり、医療者としての適切な行動「**Fitness to practice**」を育てる）を具現化することを目的にしています。